

日本の結核対策の経験を世界へ！

結核高蔓延国から来日した研修員が大阪の取り組みを視察

国際協力機構(JICA)が開発途上国を対象に実施する研修「UHC* 時代の結核制圧と薬剤耐性-検査リーダーのための実施訓練を通じた知識と技術の向上-」の一環で8ヶ国8名の研修員が大阪府へ来訪し、結核対策の取り組みを視察します。

*UHC(ユニバーサルヘルスカバレッジ):すべての人が、適切な健康増進、予防、治療、機能回復に関するサービスを、支払い可能な費用で受けられること

かつて日本でも「国民病」と言われた結核。当時結核に感染した人々が高齢になってから結核を発病するケースが増加しており、現在日本は結核の「中蔓延国」とされています。なかでも大阪府の平成29年の結核罹患率は人口10万人当たり21.3人で日本で最も結核罹患率が高い都道府県です。その大阪府において結核の予防・治療・研究に大きな役割を果たしてきた2か所を訪問します。大阪健康安全基盤研究所では、大阪府での結核診断の状況や、その検査結果を利用した疫学的調査とその取り組みを学びます。また、1954年に結核療養所として発足した大阪府結核予防会大阪病院では、よい喀痰の採取法と喀痰の質の重要性を学び、臨床検査室・採痰室等の見学を行います。

ぜひ取材をご検討ください。なお、取材頂ける場合は、お手数ですが11月8日(金)までに下記へ事前連絡をお願いします。

スケジュール

日 程 : 11月14日(木)

場 所 : 13:00-14:30 大阪健康安全基盤研究所 田丸 亜貴 先生*

15:30-17:00 大阪府結核予防会 大阪病院 伏脇 猛司 先生

*田丸先生のご講義に関しましては、掲載頂く前に下記問い合わせ先まで内容をご確認頂けますようお願い申し上げます。

訪 問 者 : JICA 研修員8名+同行者2名(研修実施機関である公益財団法人結核予防会結核研究所関係者及び通訳)

JICA 研修員内訳 : アフガニスタン、コンゴ民主共和国、リベリア、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、タイ、東ティモール

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東京センター 人間開発・計画調整課 中沢

TEL 03-3485-7078 e-mail : Nakazawa.Mihoko@jica.go.jp